

1 2. 国際普及の促進に関する事業

(1) 海外長期滞在指導者の派遣

海外滞在中の松本雅男氏（カナダ・トロント市滞在）、武井紀明氏（インドネシア・バンコク市滞在）および玉木進氏（ハンガリー・ブタペスト市滞在）を継続派遣した。

(2) イタリア・ローマへのジュニア派遣

5月14日から21日まで従来からの継続で東京・瑞穂中の鈴木一利先生を引率者にコーチ1名、選手男女各2名計6名をイタリア・ローマに派遣した。（原則自己負担）ローマでは生徒たちはホームステイしながら近郊のキャッスル・ガンドルホを中心に現地の生徒たちとの交流およびソフトテニスの指導交流を行った。

(3) ヨーロッパへ指導者と選手を派遣

ハンガリー・ブタペスト市で開催された第1回ハンガリー国際大会にあわせて、サンライフの古賀俊彦監督と古賀隆宏氏、選手4名を8月23日から25日までドイツ・フランクフルト市での普及活動に派遣した。（原則自己負担）

また、ベルギー駐在のトヨタ自動車の元監督である谷山義寛氏には、大会期間中の8月20日にオランダに飛び、アムステルダム市で精力的な普及活動を行った。

両者の普及活動は、各国との調整役を担っていただいたナガセケンコーの田辺 理氏やハンガリー駐在の玉木 進氏のご協力によるものである。

(4) ヨーロッパジュニア大会へのジュニアチーム派遣

ハンガリー・ブタペスト市で開催された国際ジュニア大会に昨年に引き続き東京・文大杉並中・高校野口英一先生を引率者に板橋区立向原中男子選手2名、文大・杉並高校の女子選手2名を8月25日から31日まで派遣した。（原則自己負担）大会はハンガリーと日本のほかチェコが参加して行われ、日本チームは優れた成績を上げるとともに各国ジュニア選手との交流を深めた。

(5) ドミニカ共和国等中米への指導者および親善交流チーム派遣

北海道の佐々木寿氏、後藤則応氏を中心とする指導者6名、選手4名の計10名を昨年に続き、ドミニカ共和国はじめ中米諸国に普及指導、親善交流のため派遣した。（原則自己負担）一行は2班に分かれ第1班は普及指導のため2月23日から3月14日まで、メキシコ、コスタリカ、パナマ、ドミニカ（共）で普及指導会を行い、第2班は3月4日から14日までドミニカ（共）、プエルトリコで指導、親善交流を行った。ドミニカ（共）、コスタリカ、プエルトリコは以前からの普及国であるが、メキシコ、パナマは初めての交流であり、今後の普及が期待される。

(6) キューバ共和国に普及指導者を派遣

キューバ共和国日本大使館の協力でキューバ（共）へ初めての普及活動が実現し、中南米ソフトテニスの育成に実績豊富な橋本貞夫氏を3月2日から8日まで派遣した。訪問中は主にソフトテニスの紹介と指導者のための実技を含むセミナーが行われた。キューバ（共）は社会主義国であり、スポーツも国の管理下で行われるが、今回の訪問により、国が公認する38番目のスポーツとして認知された。今後の普及が期待される。

(7) タイランド・ナショナルユースゲームソフトテニス競技への視察派遣

タイランド連盟カムトーン会長の要請により、タイランド・ランパーン市で行われたナショナルユースゲームソフトテニス競技に3月24日から28日まで西村副会長を派遣した。この大会は日本の高校総体（中学生を含む）のようなもので、ソフトテニスは27競技の一つとして昨年度から実施されており、全国から予選で選ばれた約180名の選手が参加した。

(8) マカオ・チャイナソフトテニス選手来日

第4回東アジア競技大会では開催地マカオから選手の参加が無かったが、大会時、日本選手団が大変お世話になったマカオ在住の松崎早苗氏が是非マカオでソフトテニスを普及させたいとのことから、3月29日から大学院生2名を日本に派遣し千葉県・白子町で開催中の、日体大桜友会研修会に参加、約800名の中学生・高校生・大学生と練習やミーティングを行った。4月2日（日）に東京体育館で開催された全日本女子選抜大会を見学し、4月3日に同じく東京体育館で開催された東京都国公立大会参加の高校生との親善試合も行った。

(9) 用具・用品の支援

ボール397ダース（19の国と地域）、ラケット462本（19の国と地域）の支援を行った
《ボール》タイ、チェコ、イタリア、モンゴル、ベルギー、中国、アメリカ、カナダ、ドイツ、
オランダ、ドミニカ（共）、キューバ、インドネシア、メキシコ、コスタリカ、パナマ、
インド、マカオ、ネパール

《ラケット》タイ、チェコ、イタリア、モンゴル、ベルギー、中国、アメリカ、カナダ、ドイツ、
オランダ、ドミニカ（共）、インドネシア、メキシコ、コスタリカ、パナマ、中国（上海）、
インド、マカオ、ネパール